

2023年

# 平和祈念公演

沖繩縣知事 島田 叡  
沖繩縣警察部長 荒井 退造  
終焉之地

8月19日(土)

開演 12:30 (開場 12:00)

宇都宮市文化会館大ホール

全席自由：1,000円

## ■公演内容

### 第1部 平和コンサート

- ・オカリナアンサンブル 櫻
- ・栃木県立宇都宮高等学校音楽部合唱団
- ・栃木県立栃木女子高等学校コーラス部
- ・女声合唱団 La Fontaine...

### <休憩>

### 第2部 映画上映会

- ・舞台挨拶 (脚本家 柏田 道夫さん)
- ・上映会 (映画「島守の塔」)



©2022 映画「島守の塔」製作委員会

主催：平和祈念公演実行委員会

共催：公益財団法人うつのみや文化創造財団

後援：下野新聞社 とちぎテレビ 栃木放送

# 2023年平和祈念公演

いまだに終わりが見えないロシアのウクライナ侵攻（戦争）。そして世界では内乱やテロ、戦争が今なお続き、多くの人々が犠牲になっています。かつて日本もアジア各国を中心に侵攻し、第2次世界大戦の引き金の一因となりました。それにより日本各地での空襲や悲惨な地上戦「沖縄戦」が繰り広げられ、そして長崎・広島には原爆が投下されるなど、悲惨な戦争により多くの日本人の尊い命が失われました。

平和祈念公演実行委員会は、戦争体験者の高齢化が進むなか2015年から各種公演を通じて、戦争の記憶を風化させず後世に平和と命の尊さを継承する目的で、これまで活動に取り組んできました。本年は、平和の願いを音楽で綴る「平和コンサート」と昨年劇場公開し数々の映画賞を受賞した映画「島守の塔」の上映会を開催いたします。

この栃木から、平和への願いと二度と戦禍を交えることのない強い決意を発信し、世界の恒久平和を切に願っております。どうか、一人でも多くの方々の参加を心からお待ちしております。

## ■第1部 平和コンサート

### ・オカリナアンサンブル櫻

2005年1月読売文化センターオカリナ講師、受講生で結成。幅広い年齢層のメンバーで県内イベントに多数出演。

2016年には「沖縄平和祈念堂」で「献奏の調べ」コンサートを行う。

### ・栃木県立宇都宮高等学校音楽部合唱団

宇都宮高校音楽部合唱団は昭和54年（1979）、宇高創立100周年記念音楽会での演奏をきっかけに発足し、栃木県内でも数少ない男声合唱団として、訪問演奏会や各種合唱祭、コンクールへの出場など、盛んに活動を行っています。

### ・栃木県立栃木女子高等学校コーラス部

心に響く歌を目指し、定期演奏会、コンクールへの参加、ボランティア演奏など積極的に活動しています。

2024年3月には西村朗氏の作品の初演も予定しています。

### ・女声合唱団 La Fontaine...

宇都宮中央女子高等学校合唱部のOGを中心に2017年に活動をスタートしました。

宇都宮と東京に拠点をおき、演奏会の開催、ボランティア演奏など、楽しく活動しています。



## ■第2部 映画上映会

映画「島守の塔」（監督・脚本：五十嵐匠／脚本：柏田道夫 原案：『沖縄の島守-内務官僚かく戦えり-』田村洋三著（中公文庫）

沖縄県民の4人に1人、20万人が犠牲となった日本国内最大の地上戦「沖縄戦」命を懸けて「生きろ！」と叫び続けた二人の官僚と、命の重みを受け継ぎ「沖縄戦」を生き抜いた沖縄県民の物語。それぞれの苦悩と生きることの奮闘を描き、次世代に平和と命の尊さを継承する映画です。

### ～STORY～

沖縄戦末期、本土より派遣された2人の内務官僚がいた。

1人は学生野球の名プレイヤーとしてならし、戦中最後の沖縄県知事として沖縄に赴任した島田毅（あきら）。島田は、度重なる軍の要請を受け内務官僚としての職務を全うしようとする。

しかし、戦禍が激しくなるにつれ、島田は県政のトップとして軍の論理を優先し、住民保護とは相反する戦意高揚へと向かわせていることに苦悩する。

そして、多くの住民の犠牲を目の当たりにした島田は「県民の命を守るここそが自らの使命である」と決意する。もう1人は、警察部長の荒井退造。島田と行動を共にし、職務を超え県民の命を守ろうと努力する。実は、沖縄戦で2人はそれぞれ重い十字架を背負っていた。荒井は、子供など県民の疎開を必死に推し進めていた。その矢先、本土に向かって学童疎開船「対馬丸」が米軍の攻撃に遭い、数多くの子供たちが犠牲となった。また、島田は知事として、軍の命令で鉄血勤皇隊やひめゆり部隊などに多くの青少年を戦場へと向かわせていた。2人はそれぞれ十字架を背負いながらも、戦禍が激しくなるのに伴い、必死に県民の疎開に尽力し多くの沖縄県民を救っていった。

一億総玉砕が叫ばれる中、島田は叫んだ。「命どう宝、生きぬけ！」と。



〈出演〉萩原聖人 村上淳 吉岡里帆 香川京子

### ～舞台挨拶～



脚本家・柏田道夫さん：脚本家、小説家、劇作家、シナリオ・センター講師

1953年東京都八王子市生まれ。鹿児島に転居後、草牟田小学校、城西中学、鹿児島高校卒業、青山学院大学文学部日本文学科卒。95年、歴史群像大賞を『桃鬼城伝奇』にて受賞（2020年3月『桃鬼城奇譚』と改題し双葉文庫より刊行）。同年、オール読物推理小説新人賞を『二万三千日の幽霊』にて受賞。映画脚本に『GOTH』『武士の家計簿』『武士の献立』『二宮金次郎』『島守の塔』（2022年公開予定）、テレビ脚本に『大江戸事件帖 美味でそうろう』など。

映画『島守の塔』の脚本を書くために摩文仁の丘を訪れた時、海はどこまでも青く空に連なっていました。沖縄の空と海を島田毅や荒井退造、さらにはあの戦争で命を散らしたたくさんの人たちも、万感の思いで見たに違いない。少しでもその思い、祈りを物語として次の世代に伝えられれば、という気持ちで脚本を書きました。あの戦争を忘れないで、平和を願いながら。